

<p>★学校の教育目標 ○かしこい子 ○やさしい子 ○元気な子</p>		<p>★重点計画の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いのち…人権尊重の精神を基調とする「すべてのいのちを守り、育む」教育の推進</li> <li>・学び…児童自ら課題を見つけ、協働して深め合い課題を解決していく「一人一人を大切にした多様な学び」の創造</li> <li>・地域…学校、家庭、地域が連携した「地域をステージにした教育活動」の推進</li> <li>・特別支援教育…インクルーシブ教育の充実</li> </ul>
<p>★目指す学校像（ビジョン）</p> <p>【めざす児童】 ①問いを大切に、自分たちなりの方法で、自分たちなりの答えにたどりつける子 ②よりよく生きるために、自分を認め、相手を認めることができる子 ③心も体も健康で、やりたいことがあり、それができる状態の子</p> <p>【めざす学校像】 ①認め合い、学び合い、共に育つ学校 ②笑顔と元気、幸せがあふれる学校 ③安心・安全で、整然とした美しい学校 ④対話し、協働していく信頼される学校</p> <p>【めざす教師像】 ①子供一人一人を大切に、感性豊かな教職員 ②教育公務員としての自覚をもち、保護者や地域の方に信頼され、連携・協力し合える教職員 ③指導力の向上を目指し、学び続ける教職員 ④心と体の健康を保つことのできる教職員</p>		

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標		成果指標	
				取組指標	成果指標		
いのち	人権尊重の精神を基調とし、「自分の命は自分で守る」ことのできる児童の育成。	○自分を大切に、相手も大切にできる感性を育む豊かな心を育成する。 ○子供の安全・安心を守る生活指導の充実を図るために、意図的、組織的にサポート体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「考え、議論する道徳教育」の実践を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</li> <li>・集団生活上のトラブルを解決する体験を重視し、主体的に解決していく経験の中から自己理解、他者理解を深めさせる。</li> <li>・ESD教育に取り組む中で、環境や生命尊重への関心、協力、感性、実行力を高める取組を実施する。</li> </ul>	4 「全ての教員」が計画に基づき、豊かな心の育成に取り組んだ。	4 児童・保護者アンケートで90%以上の肯定的な評価を得た。		
				3 「80%の教員」が取り組んだ。	3 80%以上の肯定的な評価を得た。		
				2 「70%の教員」が取り組んだ。	2 70%以上の肯定的な評価を得た。		
				1 取り組んだ教員が「70%未満」。	1 肯定的な評価は70%未満であった。		
学び	児童自ら課題を見つけ、協働して学びを深め、課題を解決していく「一人一人を大切にした多様な学び」を創造する。	○個に応じた指導や多様な学び方を設定した授業で、一人一人の学びの充実させる。 ○主体的に運動する習慣を身に付けさせ生涯スポーツの基盤を築くとともに、食育を通して健やかな体づくりを実現する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力調査等の分析を基に、習熟度別指導やグループ学習・個別学習等の学習形態を工夫し基礎的基本的学力の定着を図る。</li> <li>・身に付けさせる力を明確にした授業の工夫を行い授業改善を行う。</li> <li>・タブレット等ICT機器の効果的な活用を通して、一人一人が理解できる授業づくりを推進するとともに、各教科等において「ミライシード」を活用し、基本的学習事項の定着と、応用力を養う。</li> </ul>	4 「全ての教員」が計画に基づき、一人一人の学びの充実の実現に取り組んだ。	4 児童・保護者アンケートで90%以上の肯定的な評価を得た。		
				3 「80%の教員」が取り組んだ。	3 80%以上の肯定的な評価を得た。		
				2 「70%の教員」が取り組んだ。	2 70%以上の肯定的な評価を得た。		
				1 取り組んだ教員が「70%未満」。	1 肯定的な評価は70%未満であった。		
地域	学校、家庭、地域が連携した「地域をステージにした教育活動」を推進する。	○地域の教育的資源を学校の教育活動に生かすなど、自ら地域や社会と関わろうとする態度を育成する。 ○「つながり」を大切にした幼保小中との連携教育を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援コーディネーターと連携し、地域の施設や人材を活用した授業を全学年で実施する。</li> <li>・教育方針や教育活動、150周年記念の行事関連等をホームページ、Home&amp;School等で発信する。</li> </ul>	4 「全ての教員」が計画に基づき、自ら地域や社会と関わろうとする態度の育成に取り組んだ。	4 児童・保護者アンケートで90%以上の肯定的な評価を得た。		
				3 「80%の教員」が取り組んだ。	3 80%以上の肯定的な評価を得た。		
				2 「70%の教員」が取り組んだ。	2 70%以上の肯定的な評価を得た。		
				1 取り組んだ教員が「70%未満」。	1 肯定的な評価は70%未満であった。		
特別支援教育	インクルーシブ教育の概念に基づいた特別支援教育の推進	○全ての児童に分かる喜びを体感させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日野スタンダードを基盤に、ユニバーサルデザインの考え方による授業を実践する。</li> <li>・さくら組やステップ教室といった校内資源の活用やエール等の外部機関との連携を図る。</li> <li>・さくら組と通常学級の交流・共同学習の活性を図る。</li> <li>・校内支援委員会を核として児童のニーズを共有し「校内フリースクール」等、個に応じた支援により問題行動の抑制を図る。</li> <li>・お便りやホームページ、Home&amp;School等で特別支援教育の様子や考え方を保護者・地域へ発信する。</li> </ul>	4 「全ての教員」が計画に基づき、全ての児童が分かる喜びを体感できる授業の実践に取り組んだ。	4 児童・保護者アンケートで90%以上の肯定的な評価を得た。		
				3 「80%の教員」が取り組んだ。	3 80%以上の肯定的な評価を得た。		
				2 「70%の教員」が取り組んだ。	2 70%以上の肯定的な評価を得た。		
				1 取り組んだ教員が「70%未満」。	1 肯定的な評価は70%未満であった。		

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。